市町村名	金武町

平成２４年（繰越）度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	１－①	金武町歓迎の塔改修事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－３－（２）－ウ
					世界水準の観光リゾート地の形成
担当部課名	企画課	事業実施（予定）年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－（１）
事業内容	国道沿いに設置されている歓迎の塔（モニュメント）を改修し、また、観光案内板の設置等を行うことにより、観光客受け入れ体制の強化を図る。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他　（　　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	23,000	－			
	(b)予算現額	23,415	－			
	(c)増減額(b-a)	415	－			
	(d)繰越額	－	22,050			
	A．計(b+d)	23,415	22,050			
B．執行済額		1,365	22,050			
うち交付金充当額		1,092	17,308			
次年度繰越額		22,050				
執行率（%）(B/A)		5.8%	100.0%			
予算の状況の説明		・施設内へのアプローチの細部調整にあたり、地元屋嘉地区から変更の要望があり、その調整日数と工事期間に変更が生じたため、工事に係る22,050千円を次年度に繰越した。 ・工事内容の変更により、事業費(工事費)415千円(一般財源対応)を追加した。			

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
観光案内板の設置数	目　標	（　2基　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	2基			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				
達成状況説明	国道沿いに設置されている歓迎の塔（モニュメント）を改修し、また観光案内板を設置したことにより、観光客の受入体制を強化した。				

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（H23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（27年度）
観光案内板の設置数	目　標	（　　）	（　2基　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		2基			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					
進捗状況説明	国道沿いに設置されている歓迎の塔（モニュメント）を改修し、また観光案内板を設置したことにより、観光客の受入体制を強化した。					

取組の検証	**推進上の留意点**（推進上の問題、外部環境の変化）	**改善余地の検証**（効率の更なる向上の視点）
	・当事業については、観光案内板の設置を行なった。しかし、現状のままでは、観光案内板は、観光客に利用されない可能性がある。 　また観光案内板が利用されていなければ、他の沖縄振興特別推進交付金事業との連携が図れなくなる。	・観光案内板の利用状況をあげるため、そこでしか手に入れることができない情報（行事・イベント・グルメ・観光施設の情報）を随時掲載していく。 　そうすることで、他の沖縄振興特別推進交付金事業との連携が図られ、金武町の観光振興が更に強化される。

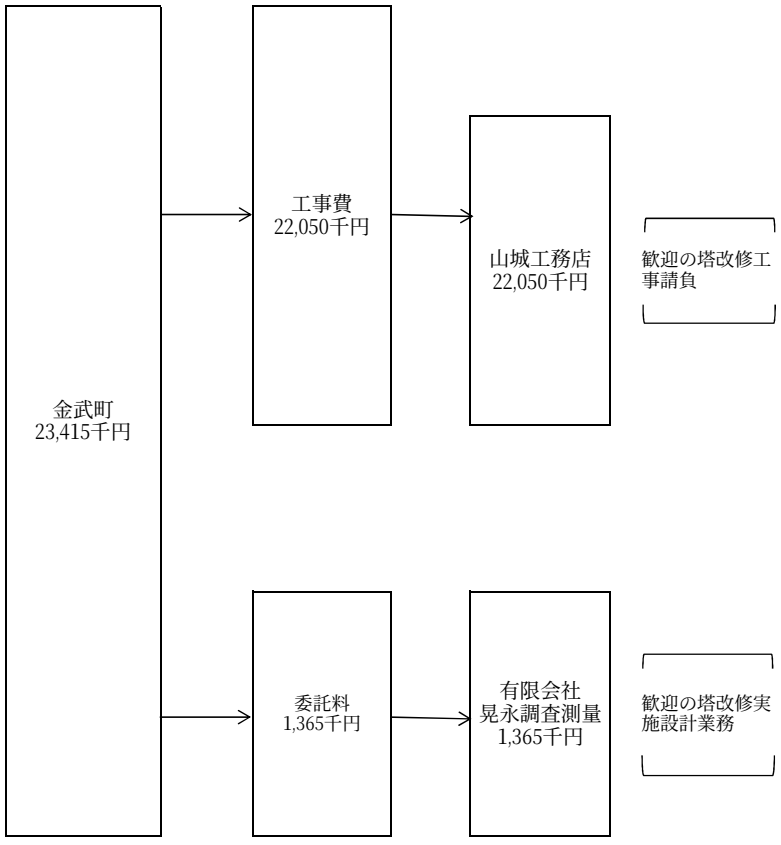
今後の取り組み方針

・今後は、観光施設及び観光資源の整備状況にあわせて、一般財源で、観光案内板の更新を図っていく。また、観光案内板と電子情報の連動ができないかどうかを検討し、連動できるのであれば、今後の沖縄振興特別推進交付金で対応を考えていきたい。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
23,415	23,415	18,400	5,015	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・行政区との調整不足により、工事内容が当初から一部変更となり、総事業費が増加した。 ・委託料、工事費については、指名競争入札方式により実績、知識等を勘案した上で、選定しており、妥当であったと考えている。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町

平成２４年（繰越）度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－②	金武町ベースボールスタジアム外構整備事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－３－（２）－ウ
					世界水準の観光リゾート地の形成
担当部課名	教育委員会　社会教育課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－(1)

事業内容

金武町ベースボールスタジアムの観覧席屋根の設置、外野スタンド擁壁、周辺排水工事及び屋外トイレの設置工事を行い、施設の機能強化を図る。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	146,492	－			
	(b)予算現額	146,492	－			
	(c)増減額(b-a)		－			
	(d)繰越額	－	125,681			
	A. 計(b+d)	146,492	125,681			
B. 執行済額		20,811	99,010			
うち交付金充当額		16,648	79,208			
次年度繰越額		125,681				
執行率（%）(B/A)		14.2%	78.8%			
予算の状況の説明		施設設計にあたり利用者から、外野スタンド擁壁に階段設置の要望があり、その調整に不測の日数を要したため工事着手が遅れることとなり繰越すこととなった。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
スタジアムの機能強化（観覧席屋根設置、外野スタンド擁壁、周辺排水工事、屋外トイレ設置工事）	目　標	（実施設計･工事実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	実施設計･工事完了			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：平成２４年度に金武町ベースボールスタジアムの観覧席屋根の設置、外野スタンド擁壁、周辺排水工事及び屋外トイレの設置工事の着手を行い、平成２５年度に工事完了し施設の機能強化を図ることができた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
スタジアムの機能強化（観覧席屋根設置、外野スタンド擁壁、周辺排水工事、屋外トイレ設置工事）	目　標	（　）	（実施設計･工事実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績		実施設計･工事完了			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：平成26年3月末に工事完了後、竣工検査、備品搬入を経て平成26年4月4日に供用開始となった。通年、週末等の利用が主であり、県内社会人から小中学生までの幅広い層の各種大会や練習等で利用され、また、毎週火曜日には野球教室での利用もなされている。下半期の１０月から3月の期間については韓国プロ野球キアタイガースの秋季練習や東北楽天ゴールデンイーグルスの春季練習、県外高校･大学の合宿等で利用されている状況にある。

取組の検証	**推進上の留意点**（推進上の問題、外部環境の変化）	**改善余地の検証**（効率の更なる向上の視点）
	事業計画は住民ニーズ等の意見を踏まえて検討・改善の期間等を考慮した計画策定を行う必要性がある。	今回、施設設計にあたって利用者からの要望により、外野スタンド擁壁に階段設置を追加した。今後は設計発注前に要望事項を踏まえつつ事業の推進を行い、時間的ロスを抑制していく必要がある。

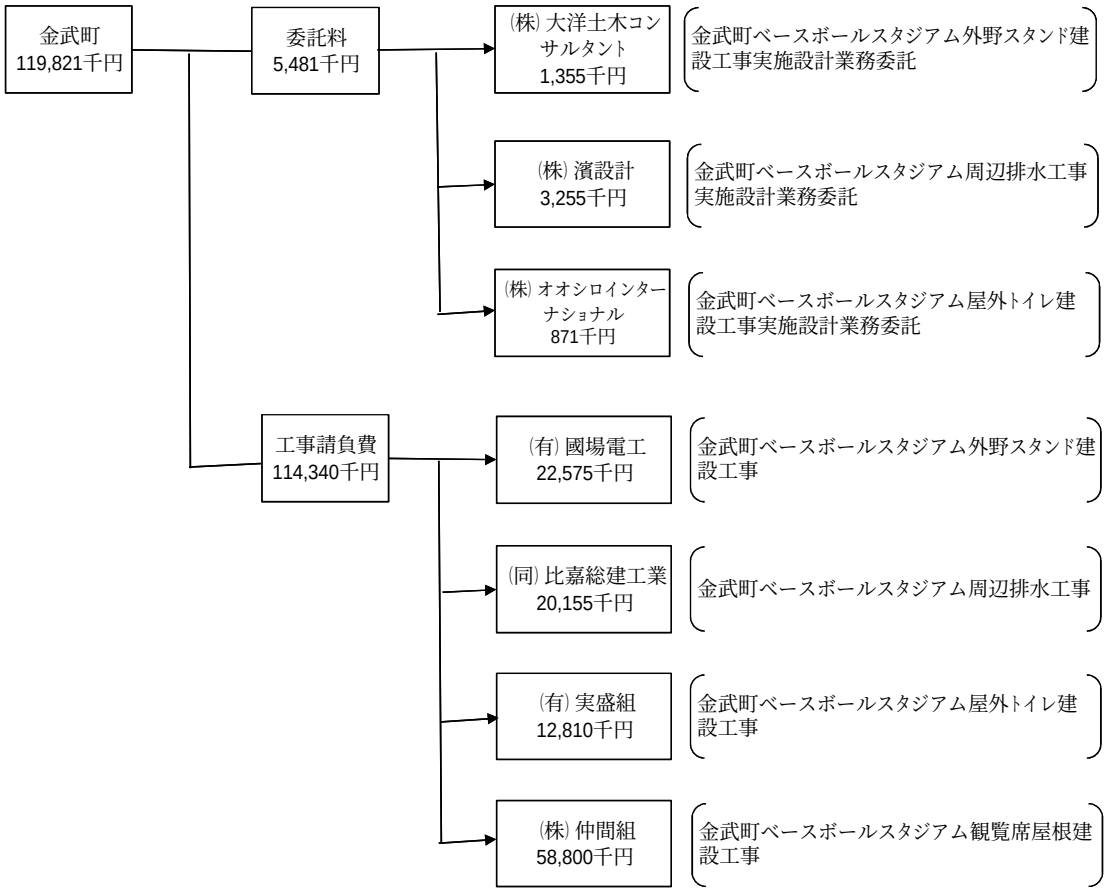
今後の取り組み方針

今後の事業推進につきましては設計発注前に住民等の要望事項を充分に検討していく。現在は、平成２５年度事業としてナイター照明（文部科学省補助）を整備中であり、平成２６年度以降に電光掲示板増設（財源未定）を行いたい。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
119,821	119,821	95,856	23,965	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託・工事業者は指名競争入札により選定されており妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町

平成２４年（繰越）度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	１－③	バス停上屋整備事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－３－（２）－ウ
					世界水準の観光リゾート地の形成
担当部課名	総務課	事業実施（予定）年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－（１）
事業内容	ギンバル訓練場の跡地利用により、リゾートホテル等が整備されると観光客の増加が見込まれる。本町の今後の観光振興を推進するため、公共交通機関の利便性を高める必要があり、バス停留所の上屋を整備する。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	41,171	－			
	(b)予算現額	41,171	－			
	(c)増減額(b-a)		－			
	(d)繰越額	－	41,171			
	A．計(b+d)	41,171	41,171			
B．執行済額			35,910			
うち交付金充当額			28,728			
次年度繰越額		41,171				
執行率（%）(B/A)			87.2%			
予算の状況の説明		北部国道事務所が実施する国道329号の電線共同溝整備事業の計画があり、道路占用許可等の調整に時間を要したため、平成25年度に繰り越して事業を実施した。 不用額5,261千円は、入札残である。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
町内路線バス停留所の上屋整備	目　標	（　9基　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	１０基			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：町内の全路線バス停留所の上屋が整備されたことにより、バス利用の観光客の利便性が向上した。
当初バス停留所の上屋の整備を９基計画していたが、整備すべき個所は１０基あったことから実績が増となった。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
町内路線バス停留の上屋整備率	目　標	（　77%　）	（　100%　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		100%			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：町内の全てのバス停留所の上屋が整備された。

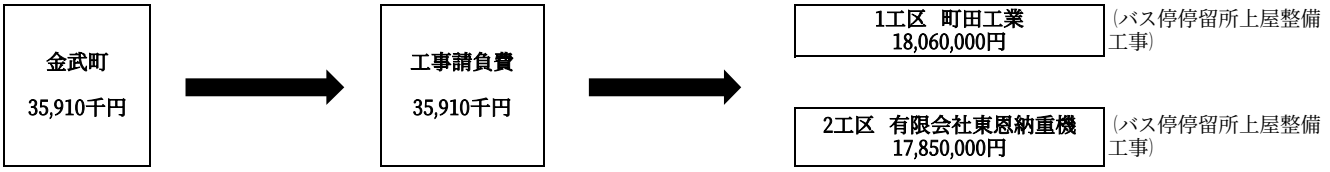
取組の検証	**推進上の留意点**（推進上の問題、外部環境の変化）	**改善余地の検証**（効率の更なる向上の視点）
	路線バスは本町唯一の公共交通機関である。基地跡地利用による観光振興を図る上でバス停の上屋整備が求められてきた。 事業執行中に上屋の整備必要性が1基出てきた。	バス停留所に町内の観光図などを設置することで、更なる観光の振興が図られる。 事業計画の精査が必要である。

今後の取り組み方針

バス停留所に近隣の名所旧跡、グルメ等周辺の観光情報を表示し、観光客の利便性を高める。
今後類似の計画がある場合において、計画現場立ち会い等事業目的の遂行に努める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
35,910	35,910	28,728	7,182	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事は金武町工事指名審査委員会で選定された業者を対象に入札を行っており、業者選定は妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町

平成２４年（繰越）度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	１－⑦	ウォーキングコース等整備事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－２－（１）－ア
					健康・長寿おきなわの推進
担当部課名	社会教育課	事業実施(予定)年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－（１）
事業内容	町営グラウンド周回道路及び隣接する金武地区公園内遊歩道にゴム状のチップ舗装等を整備し、陸上競技大会の開催や、県外大学合宿等の誘致を図る。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	56,473	－			
	(b)予算現額	56,473	－			
	(c)増減額(b-a)		－			
	(d)繰越額	－	56,473			
	A. 計(b+d)	56,473	56,473			
B. 執行済額			43,050			
うち交付金充当額			34,440			
次年度繰越額		56,473				
執行率（%）(B/A)			76.2%			
予算の状況の説明		当事業については、金武町全天候型陸上競技場の付帯施設としてウォーキングコースを整備する計画であったが工事予定箇所内の陸上競技場観覧席等の建設も予定しており、位置及び規模等の調整の必要があり、ウォーキングコースの線形調整に不測の日数を要したことから年度内に完了することが困難な為、翌年度へ繰越した。また、前述の観覧席等に係る箇所において舗装面積が減となったため不要額が生じた。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
ウォーキングコースのゴム状チップ舗装等の実施	目　標	ウォーキングコースのゴム状チップ舗装等の実施	（　）	（　）	（　）
	実　績	実施済			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				
達成状況説明		平成24年度に事業実施予定であったが、工事予定箇所内の陸上競技場観覧席等の建設も予定しており、位置及び規模等の調整の必要があり、ウォーキングコースの線形調整に不測の日数を要したことから年度内に完了することが困難な為、平成25年度へ繰越し、平成25年9月13日に完成した。			

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
ウォーキングコースのゴム状チップ舗装等の実施	目　標	（　）	（ウォーキングコースのゴム状チップ舗装等の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績		実施済み			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					
進捗状況説明		平成25年9月13日に完成後、国頭郡陸上競技大会・恩納村陸上競技大会・金武町陸上競技大会などの大会を開催した。また、合宿では、U-15日本代表サッカーキャンプ・コンサドーレ札幌・起亜タイガース・FC琉球・楽天イーグルス・北陸実業団陸上競技連合・国士舘大学・東京農業大学などが施設を利用した。				

取組の検証	**推進上の留意点**（推進上の問題、外部環境の変化）	**改善余地の検証**（効率の更なる向上の視点）
	・ウォーキングコースのPR不足。 ・合宿・大会時のウォーキングコースと陸上競技場のリンクした利用方法の検討について。	・合宿などでウォーキングコースの利点を利用者に説明し、更なる合宿誘致に取り組む。

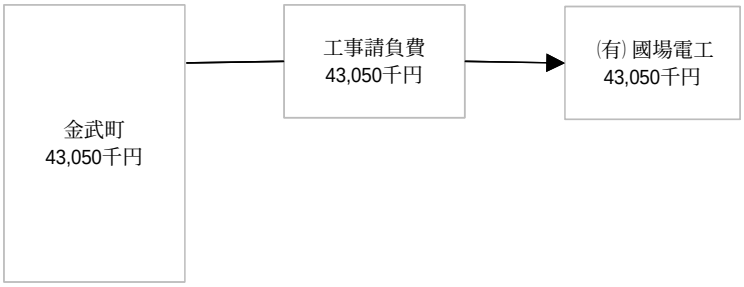
今後の取り組み方針

施設パンフレットを作成しウォーキングコースの写真も入れPRしていく。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
43,050	43,050	34,440	8,610	



（業務名：金武町陸上競技場ウォーキングコース等整備工事）

（有）國場電工

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業者は指名競争入札を行い選定したので妥当と考えている。 ○予算規模は陸上競技場周辺のウォーキングコースの距離を積算し実施したので適正な規模と考える。 ○費目・使途については工事委託となっている為、事業目的達成の観点から適正と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町

平成２４年（繰越）度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	４－①	芳魂の塔改修整備事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－４－(2)－ウ
					国際協力･貢献活動の推進
担当部課名	保健福祉課	事業実施(予定)年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－７
事業内容	太平洋戦争において、悲惨な体験をした事実を後世へ伝えていくことは、本町の使命であり、毎年６月に行われている金武町戦没者追悼式の継承は、恒久平和を願う金武町民の心を伝えるものである。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

	24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況 (a)当初予算額	28,014	－			
予算の状況 (b)予算現額	28,014	－			
予算の状況 (c)増減額(b-a)		－			
予算の状況 (d)繰越額	－	15,414			
予算の状況 A. 計(b+d)	28,014	15,414			
B. 執行済額	12,600	15,320			
うち交付金充当額	10,080	12,255			
次年度繰越額	15,414				
執行率（%）(B/A)	45.0%	99.4%			
予算の状況の説明	芳魂の塔等に使用される使用材料(黒御影石)の入手が困難な時期と重なった為に工期の延長を行い事業について一部繰越を行い実施し完了した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
芳魂の塔整備に係る実施設計、改修工事の実施	目　標	（実施設計、工事の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	実施設計、工事の完了			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：金武町戦没者追悼式で使用されている芳魂の塔及び周辺を改修したことにより、雨天の対応や恒久平和を考える場が整備され、参加者の受入体制を強化することができた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
芳魂の塔整備に係る実施設計、改修工事の実施	目　標	（　）	（実施設計、工事の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績		実施設計、工事の完了			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：金武町戦没者追悼式で使用されている芳魂の塔及び周辺を改修したことにより、雨天の対応や恒久平和を考える場が整備され、参加者の受入体制を強化することができた。

取組の検証	**推進上の留意点**（推進上の問題、外部環境の変化）	**改善余地の検証**（効率の更なる向上の視点）
	・改修前の芳魂の塔については、老朽化が激しく、遺族会や住民からの改修等に関するニーズがあった。今回の事業では、住民のニーズに対応出来たと考える。 ・毎年実施している町の戦没者追悼式へ参加する町内各小中学校の児童生徒についても、今回の改修を期に塔の建立理由や改修に対する住民の思いを含め改めて平和について考える期会とすることが出来た。 ・町では、海外移住者も多く、その移住子弟の受入研修を実施しているが、子弟研修においても戦争と恒久平和について考える場としていく必要がある。 ・町の遺族会については、高齢化が進んでいる。今回の改修を期に遺族会以外の町民に対しても周知を図り平和について考える機会とする必要がある。	・平和学習の場としては、引き続き町内の各小中学校の児童生徒の戦没者追悼式への参加をとおして実施していく。 ・海外移住者子弟については、今後も町での受入研修の一環として恒久平和について考える場として芳魂の塔を活用して行く。 ・平成24年度までは、戦没者追悼式の周知を世帯配布チラシと有線放送で行っていたが、平成25年度からは、町の広報紙での周知を行っている。

今後の取り組み方針

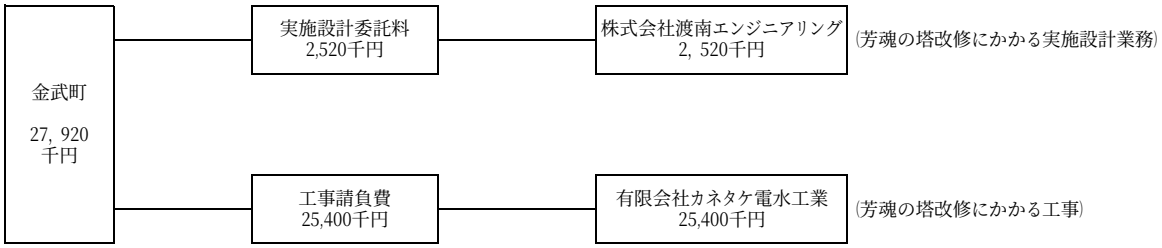
・町内各小中学校児童生徒について、平和学習の機会として活用していく。

・海外移住者子弟研修においても、平和について考える機会として活用していく。

・平成27年度の周知については、町の全ての広報媒体の活用行いその周知を「図る。
（広報紙、世帯配布の年間行事予定表や健康カレンダーへの掲載、有線放送及びLINE、公式ホームページ、Facebookの活用）

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
27,920	27,920	22,335	5,585	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・業者選定は、指名競争入札参加者審査を実施し参加の適否を判断したうえで指名競争入札を行っているので、業者選定は妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町

平成２４年（繰越）度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	５－①	ギンバル訓練場跡地利用事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－（13）－イ
担当部課名	基地跡地推進課	事業実施（予定）年度	平成２４～２５年度		駐留軍用地跡地の有効利用の推進
				沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－8
事業内容	ギンバル訓練場跡地利用事業が世間に周知され、多くの人に関心を持ってもらうためにモニュメントを設置する。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	42,654	－			
	(b)予算現額	42,654	－			
	(c)増減額(b-a)		－			
	(d)繰越額	－	40,554			
	A．計(b+d)	42,654	40,554			
B．執行済額		2,100	39,900			
うち交付金充当額		1,680	31,920			
次年度繰越額		40,554				
執行率（%）(B/A)		4.9%	98.4%			
予算の状況の説明		・ギンバルを象徴するモニュメントの整備にあたり、住民から新たにシーサーを含んだ整備が必要との要望調整とそれに伴う工事期間の変更が必要となったため次年度に繰り越した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
モニュメント整備に係る実施設計、設置工事の実施	目　標	（実施設計、設置工事）	（　）	（　）	（　）
	実　績	実施設計、設置工事			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				
達成状況説明		平成24年12月3日～平成25年2月28日にかけて実施設計を行い、平成25年6月7日～平成26年1月31日にかけて設置工事を実施した。			

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
モニュメント整備に係る実施設計、設置工事の実施	目　標	（　）	（実施設計、設置工事）	（　）	（　）	（　）
	実　績		実施設計、設置工事			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					
進捗状況説明		ギンバル訓練場跡地利用事業を象徴するモニュメントと併せて、周辺にはベンチや駐車場、花壇など設置され、訪問者に癒しを与えられる場が整備された。				

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・ギンバル訓練場跡地利用として地域医療施設、ヘルスケアセンター、フィッティングセンター海洋療法児童リハビリセンターを整備したが、その施設管理者と連携してギンバル地区の広報活動を行えていない。 ・住民よりシーサーの設置要望もあったが、予算や設置場所等について決定できなかったため、別工事で設置することを検討した。	・モニュメントをギンバル地区のシンボルとして施設管理者と連携して広報活動を行っていく必要がある。 ・平成２７年度以降に国道からモニュメントを設置したギンバル訓練場入口までの町道を改修工事する予定であり、その際に国道入口付近にシーサーの整備を検討していく。

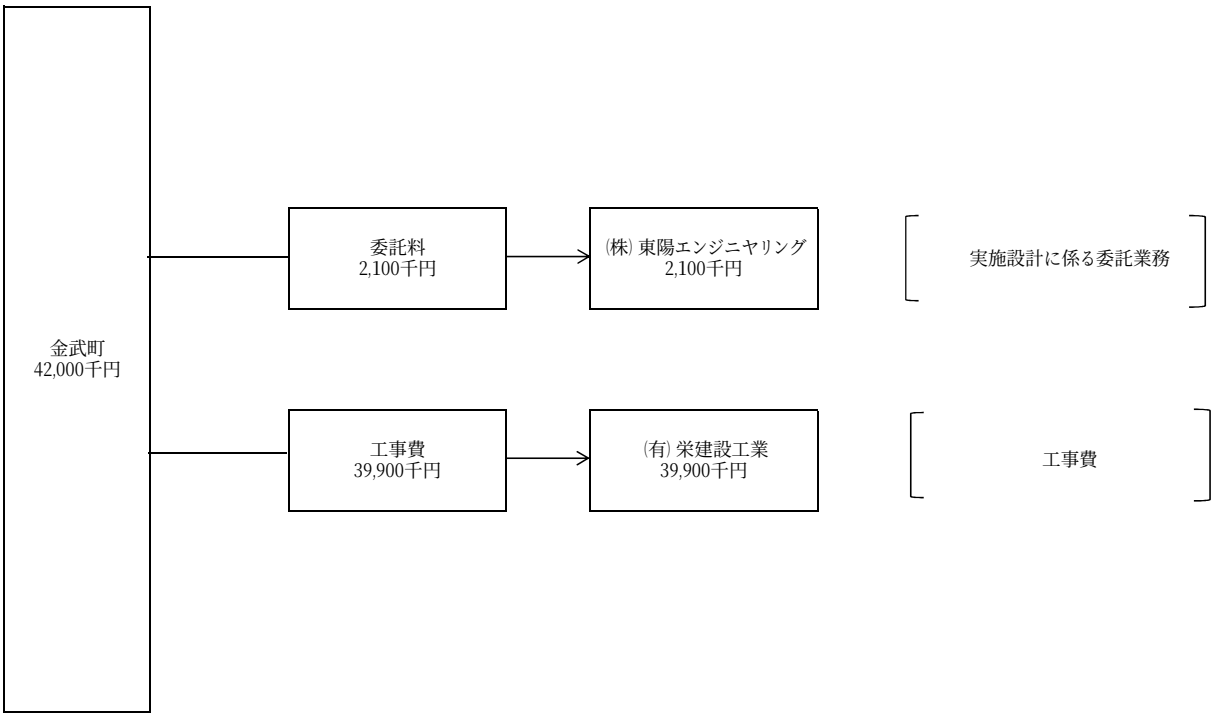
今後の取り組み方針

今後は、施設管理者と連携し、町の広報誌やホームページを活用するなどの広報活動の検討を行う。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
42,000	42,000	33,600	8,400	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○設計業者、工事業者とも指名競争入札により決定しており、妥当であったと考えている。 ○費用・使途についてはギンバル地区の象徴となるモニュメントの整備に限定されており、事業目的に即したものとなっている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	